

個別事業説明書【PR版】

土 木 部

1 地域高規格道路大洲・八幡浜自動車道整備事業費

大洲・八幡浜自動車道は、四国8の字ネットワークに直結し、地域産業の活性化や観光振興などを支援する「地方創生の道」であるほか、大規模災害発生時の「命の道」となるもので、自動車専用の高規格道路として整備を行う。

お問い合わせ先
 土木部道路都市局
 道路建設課
 (089-912-2710)

指標	施策	25 暮らしを支える地域交通の維持と基盤整備 KGI 高速道路の整備率	現状値	81.9% (～R5年度累計)
	細施策	25-2 高速道路ネットワークの整備 KGI 高速道路の整備率	目標値	83.6% (～R8年度累計)
			現状値	81.9% (～R5年度累計)
			目標値	83.6% (～R8年度累計)

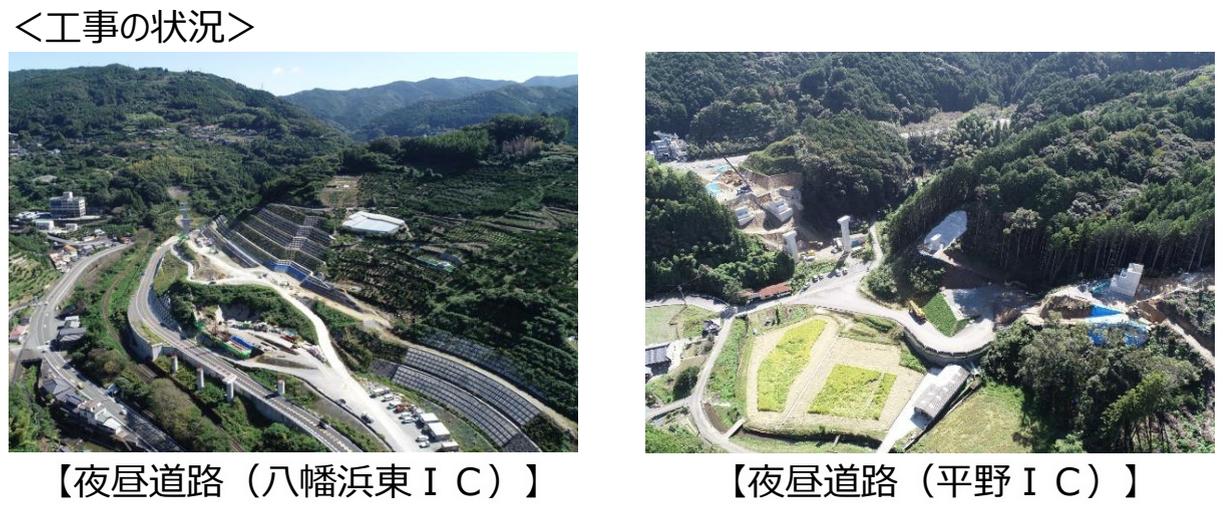
事業イメージ	KPI 大洲・八幡浜自動車道の整備率	現状値	58% (～R5年度累計)
		目標値	63% (～R8年度累計)

事業概要



〈事業計画〉 (千円)

工区名	箇所	事業費	主な事業内容
よるひる夜昼道路	大洲市～八幡浜市 L=4.2km	1,034,737	橋梁上部工、切土法面工、用地測量、用地補償
おおずし大洲西道路	大洲市 L=3.3km	147,368	道路詳細設計、用地測量、用地補償
計		1,182,105	工事費負担割合：国5.5/10 県4.5/10



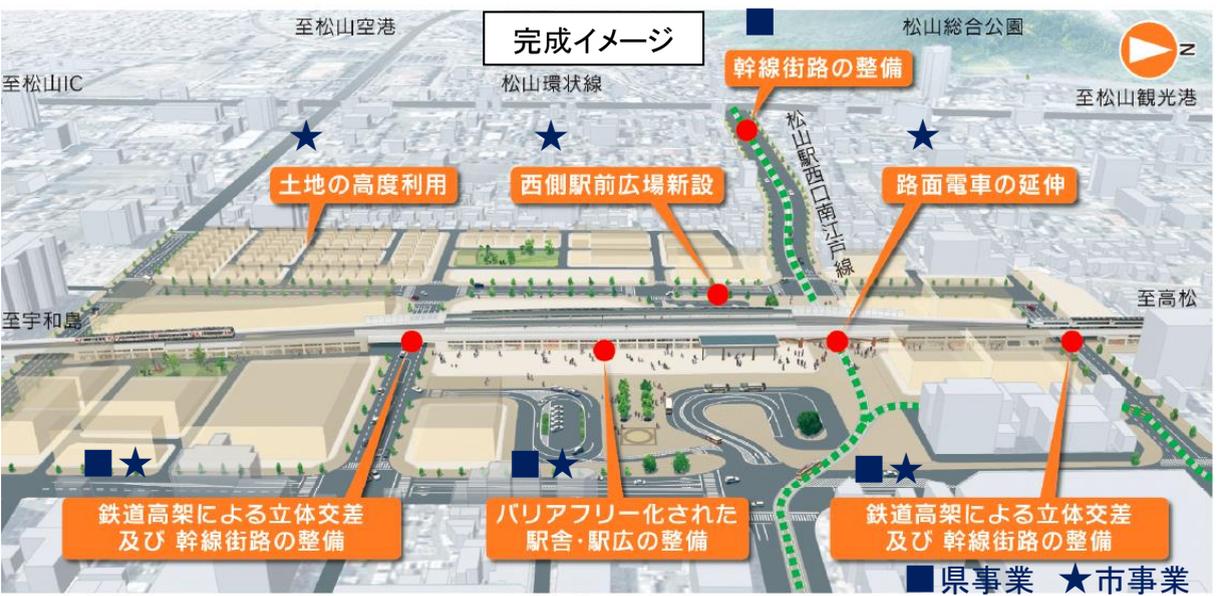
2 JR松山駅付近連続立体交差事業費

JR松山駅を中心とした約2.4km区間を高架化し、駅周辺の市街地分断や、踏切遮断による交通渋滞の解消を図るとともに、松山市が行う土地区画整理事業や周辺街路事業と一体的に整備することで、にぎわいと活力あるまちづくりを目指す。

お問い合わせ先
 土木部道路都市局
 都市整備課
 (089-912-2745)

指標	施策	25 暮らしを支える地域交通の維持と基盤整備 KGI コンパクトなまちづくりの推進に向けた都市基盤の整備率	現状値	69.8% (～R6年度累計)
	細施策	25-3 都市の機能性、安全性、利便性及び快適性の増進 KGI コンパクトなまちづくりの推進に向けた都市基盤の整備率	目標値	73.3% (～R8年度累計)
			現状値	69.8% (～R6年度累計)
			目標値	73.3% (～R8年度累計)

事業イメージ **KPI** 付近8箇所の通勤、通学等における踏切待ち時間
 現状値 1,111分/日 (R2.1時点)
 目標値 0分/日 (R7年度)



事業概要

実施期間 H21～R7年度

R7年度事業費

(1) 高架本体	352,285千円	鉄道施設等撤去工事 交差道路工事 市道受託工事 工損事後調査
(2) 高架側道	21,052千円	側道構造物工事 騒音振動調査

	R4	R5	R6	R7	R8
高架事業 (H21～)					
駅舎工事 (R4～)					
側道事業 (H21～)					
土地区画整理事業 (H20～)					

①渋滞・事故の解消

鉄道高架に伴う、8箇所の踏切除却により、交通渋滞、踏切事故の危険性が解消され、幹線街路の整備により、交通の円滑化が図られます。

②地域分断の解消・駅西地区の活性化

鉄道の高架化と西側駅前広場の新設による駅西側から松山駅への直接アクセス、駅前広場の一体利用、路面電車の延伸及び停留所の移設による松山駅での乗換えなどが便利になり、幹線道路整備とあわせて交通結節点としての利便性・快適性が格段に向上します。

③安全・快適な施設利用

駅舎を新設し、バリアフリー化することにより、安全で快適な施設利用と、駅機能が強化されます。

④県都の陸の玄関の刷新

車両基地・貨物駅の移転と併せて土地区画整理事業を実施することにより、駅周辺や隣接する地区の土地の高度利用と、県都にふさわしい魅力ある陸の玄関が形成されます。

(市)新玉11号線(南江戸町踏切)



3 紫電改展示館リニューアル事業費

国内で唯一現存する紫電改。老朽化が進む現展示館をリニューアルし、財源の一部を全国の皆様の力を結集した「クラウドファンディング」により調達することで、貴重な実機を未来につなげ、「恒久平和の大切さ」を改めて広く伝えるとともに、一連のプロジェクトを通じて紫電改を全国へPRし、地域外から人を呼び込むなど交流人口の拡大による南予地域の活性化を推進する。

お問い合わせ先
 土木部道路都市局
 都市整備課
 (089-912-2745)

指標	施策	20 本県ならではの魅力ある観光まちづくりの推進 KGI 日本人延べ宿泊者数	現状値 4,490千人 (R5年) 目標値 4,900千人 (R8年)
	細施策	20-4 各都市公園の魅力向上 KGI 各都市公園の年間来訪者数合計	現状値 2,381千人 (R5年度) 目標値 2,633千人 (R8年度)

事業イメージ	KPI 再編整備進捗率 (R8に新展示館のオープンができる進捗を目指す)	現状値 6%(R5年度) 目標値 92%(R5~8年度累計)
--------	--	-----------------------------------

事業概要

▶新紫電改展示館概要

コンセプト
恒久平和の大切さを伝える公園 (平和学習の場を提供)

- 【概要】
- ・平和への「くさび」をイメージした三角形の特徴的な外観。
 - ・海と空、実機を同時に眺められる建築計画。
 - ・鉄筋コンクリート造 (一部木造、鉄骨造) 2階建て、延べ床面積約690m²

【クラウドファンディング (ふるさと納税型) 実施内容】

(実施目的) 紫電改展示館の建替えに伴い紫電改実機の移設が必要。
 貴重な実機を未来に引き継ぐため、機体の補強や移設費用を全国の皆様から支援いただきリニューアル事業を実現させる。

(実施時期) 令和7年7~8月 (予定)
 (目標金額) 3,800万円
 (寄付の用途) 実機の補強費用
 実機の移設費用(R8年度予定)
 ※この他支援金に応じて展示内容を充実



新紫電改展示館 イメージパース



【R7年度事業内容】

- 新展示館整備費 (建屋・展示) 277,799千円**
 新展示館新築費用、展示製作費用、展示監修費 等
 - 紫電改実機の補強費 10,000千円**
 実機を移設するために必要な機体の補強費用
 - クラウドファンディング経費 18,000千円**
 クラウドファンディングを実施するためのサイト掲載料、ふるさと納税返礼品費用、PR費用 等
- ※上記2 (うち国費を除く5,000千円)、3は支援金を活用。
 その他、実機移設費用 (15,000千円) (R8年度) に支援金を活用予定。

紫電改展示館リニューアル 事業計画

内容	R5	R6	R7	R8	R9
詳細設計(新紫電改展示館)	■				
造成工事		■			
新紫電改展示館新築建設			■	■	
工事監理			■	■	
展示資料作成・監修			■	■	
実機移設関係		■	■	■	
旧建屋解体				■	
外構(駐車場、周辺整備)			■	■	■



4 道後公園魅力向上推進事業費

令和7年度当初予算（案）
 予算額 27,550千円

道後公園・湯築城跡は、現存状況も良好で、中世から近世に至る城郭変遷を知るうえで重要な史跡となっている。令和6年度には、道後温泉本館改築130周年と本館のリニューアルオープンを迎え、多くの観光客が道後地区に訪れることが予想されるタイミングであるため、周辺観光施設との連携を深めて、道後公園の歴史的な価値を磨き認知度向上を図ることで道後地区の面的な広がりとならざるブランド化を目指す。

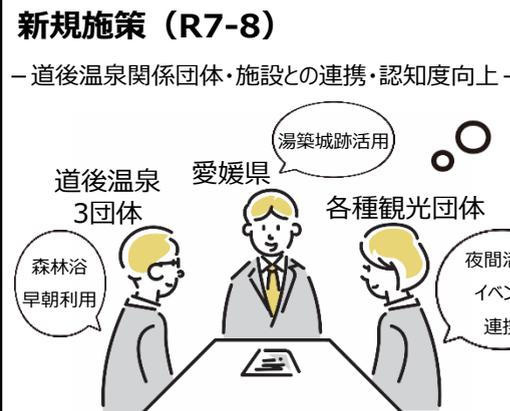
お問い合わせ先
 土木部道路都市局
 都市整備課
 (089-912-2745)

指標	施策	20 本県ならではの魅力ある観光まちづくりの推進 KGI 日本人延べ宿泊者数	現状値 4,490千人 (R5年) 目標値 4,900千人 (R8年)
	細施策	20-4 各都市公園の魅力向上 KGI 各都市公園の年間来訪者数合計	現状値 2,381千人 (R5年度) 目標値 2,633千人 (R8年度)

事業イメージ	KPI 道後公園（湯築城跡）利用者数 （湯築城跡の利用者を同じ百名城の松山城と同水準である約30%増加を目指す）	現状値 1,095千人 (R5年度) 目標値 1,152千人 (R8年度)
--------	--	--

(R6) 道後温泉本館
 リニューアルオープン
 改築130周年

道後公園へ誘客を図る
 絶好の機会



道後温泉旅行者を呼び込もう
 -道後公園の価値を磨き道後地区の面的な広がり-

夜間活用
 イベントスペースとしての活用
 森林浴（癒やしの提供）
 テイクアウトグルメ

新たな観光地としての地位を確立(R9-)

- ◆ 道後温泉関係団体・施設との連携の継続
 （地酒・開運めぐり・宝蔵寺や松山城とコラボ）
- ◆ 積極的・戦略的な情報発信・ブランド化

事業概要

- ① 認知度向上**
 （事業費5,000千円 うち国費（観光庁）2,500千円）
 ◆ デジタルサイネージ（2基）
 [湯築城の歴史紹介動画・湯築市等のイベントの周知]
- ② 夜間活用**（34カ所）
 （事業費14,550千円 うち国費（文化庁）7,275千円）
 ◆ 園路誘導照明 [ナイトタイムエコノミーの促進]
 ◆ 湯釜ライトアップ [道後温泉からの誘導]
- ③ 森林浴**
 （事業費8,000千円 うち国費（文化庁）4,000千円）
 ◆ テイクアウト用ベンチ（8基） [道後地区の飲食店と連携]
 ◆ オーディオトラベルガイド [早朝利用の促進]
 [体験として森林浴を提供]



R8年度事業費（想定）	事業内容（想定）	金額
15,000千円	園路誘導照明設置（残り分）	12,000千円
	PR事業（情報発信等）の実施・イベントの実施	3,000千円

5 とべもり+（プラス）エリア交流拡大推進事業費

とべもり+エリア全体の魅力向上と相互施設の周遊を促進するため、従来の取組みに加え、新たにとべもり+ 4施設が連携して各施設の魅力や特徴を生かしたイベントを実施する。

お問い合わせ先
 土木部道路都市局
 都市整備課
 (089-912-2745)

指標	施策	20 本県ならではの魅力ある観光まちづくりの推進 KGI 日本人延べ宿泊者数	現状値 4,490千人 (R5年) 目標値 4,900千人 (R8年)
	細施策	20-4 各都市公園の魅力向上 KGI 各都市公園の年間来訪者数合計	現状値 2,381千人 (R5年度) 目標値 2,633千人 (R8年度)

事業イメージ	KPI とべもり+(プラス)2施設以上の周遊者数 (過去最高周遊者数 (R4:299,691) の8%増を目指す)	現状値 282,731人 (R5年度) 目標値 324,000人 (R7年度)
--------	---	--

とべもり+各施設の魅力・特徴を生かし連携して相乗効果を図る



1. スマホアプリ とべもり+ナビ



2. とべもり+イルミネーション



3. とべもり+集客促進事業



4. 4施設連携イベント【新規】

子どもたちに豊かな体験機会を提供し、とべもり+の魅力を生かして再発見してもらう

とべもり+エリアの活性化!

「とべもり+」で遊んで学ぶ 体験型イベント
 とべもり+GO!GO!WEEKS

【メインイベント】
 総合運動公園
 ・とべもり+出張ブース
 ・ワークショップ
 ・スポーツ、自然体験など

【施設イベント】
 とべ動物園

【施設イベント】
 こどもの城

【施設イベント】
 森林公園

事業概要

- 1 スマホアプリとべもり+ナビの運用** 2,187千円
 とべもり+ 4施設の情報を一体的かつ効果的に発信するPRツールとして引き続き活用。
- 2 とべもり+イルミネーションの実施** 8,501千円
 とべもり+ 3施設において同時期にイルミネーションを実施。とべもり+の冬の恒例イベントとして一体的に広報し、点灯式などのイベントを実施することで、エリア全体の活性化につなげる。
- 3 とべもり+集客促進事業** 4,235千円
 道後からの誘客を促進するとともに、バスを広告塔にして認知度向上を図るため、「とべもり+イルミネーションバス」を運行。
 ・運行日数：6年度5日間→7年度8日間に増便予定
- 4 4施設連携イベントの実施【新規】** 9,201千円
 とべもり+ 4施設において、各施設の魅力や特徴が伝わるイベントを「同時期」に開催。スケールメリットを生かし、とべもり+連携イベントとして一体的に広報することで、エリア全体の魅力向上と相互施設の周遊や誘客を促進する。
 【メインイベント実施内容案】
 ・とべもり+各施設の特色を生かした出張体験イベント
 ・総合運動公園の施設を活用した体験イベント
 ・遊具の設置やミニスポーツ企画 など

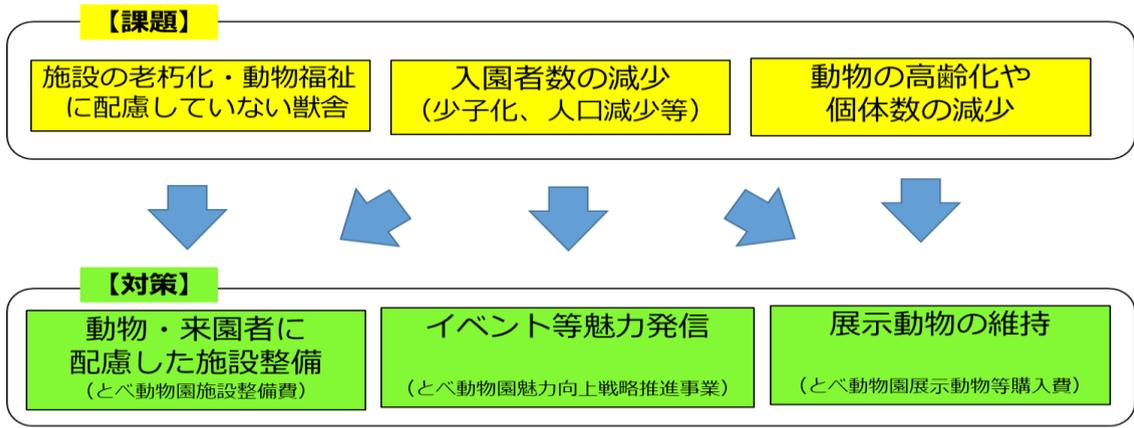
6 とべ動物園の将来を見据えた魅力向上事業

少子化やレジャーの多様化などの影響による来園者数の減少に対応するため、魅力ある獣舎の整備、魅力ある展示動物の導入、Webを活用したマーケティングや各種誘客イベント等の実施により、来園者数の増加を目指す。

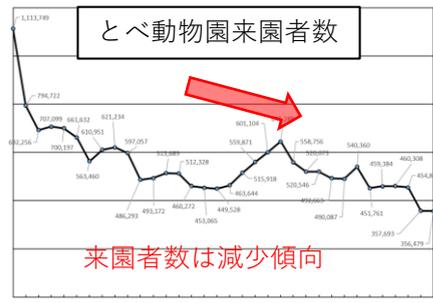
お問い合わせ先
 土木部道路都市局
 都市整備課
 (089-912-2745)

指標	施策	20 本県ならではの魅力ある観光まちづくりの推進	現状値	4,490千人 (R5年)
	KGI	日本人延べ宿泊者数	目標値	4,900千人 (R8年)
指標	細施策	20-4 各都市公園の魅力向上	現状値	2,381千人 (R5年度)
	KGI	各都市公園の年間来訪者数合計	目標値	2,633千人 (R8年度)

事業イメージ **KPI** 右表のとおり 現状値 右表のとおり
目標値



良好な「とべ動物園ブランド」の強化と定着
 とべ動物園のよさを実感してもらい来園者増加につなげる
 R7年度入園者数55万人を目指す。



※その他 Webによる情報発信などを実施

事業概要 【とべ動物園魅力向上基金充当事業】

- 【令和7年度の内容】
- とべ動物園展示動物等購入費 86,521千円
 《動物の購入・医療器具等の購入》
 市場の動向を踏まえながら、とべ動物園の独自性をいかした動物を購入。また、動物の健康管理強化等に必要な医療器具等を購入。
 - とべ動物園魅力向上戦略推進事業費 23,601千円
 《とべZOOイルミネーション2025》8年目を迎える定番イベント。
 《Webによる情報発信(4施設連携)》《オランウータンお披露目イベント》
 - とべ動物園施設整備費 80,000千円
 《オランウータン舎詳細設計》
 オランウータンの導入に向け、既存インドゾウ舎を動物福祉に配慮し、安全に過ごすことができるオランウータン舎へ改修するための詳細設計を実施。
 《魅力を向上させる獣舎改変》
 生息環境を可能な限り再現し、行動展示を促す部分的な獣舎改変を実施。等

「結婚式」を開催

事項名	KPI		
とべ動物園展示動物等購入費	KPI	展示動物の種類数 (中四国で最も豊富な種類の動物を展示する)	現状値 143種(R5年度) 目標値 147種(R8年度)
とべ動物園魅力向上戦略推進事業費	KPI	とべ動物園来園者満足度 (計画に掲げるR9年度目標85%に基づき設定)	現状値 80%(R5年度) 目標値 83%(R8年度)
とべ動物園施設整備費	KPI	年度当初に改修を予定していた獣舎数に対する改修実施率 (魅力が向上する獣舎改修を実施する)	現状値 0%(R5年度) 目標値 100%(R8年度)

7 公営住宅（北条地区）集約整備事業費

愛媛県と松山市が連携することにより、松山市北条地区内にある老朽化等が著しい県営住宅鹿峰団地（S42～45年度建設）と市営住宅5団地（S35～41年度建設）の集約建替事業を実施する。

お問い合わせ先
 土木部道路都市局
 建築住宅課
 (089-912-2755)

指標	施策	26 公共施設の適正なマネジメント KGI 県の管理する公共施設等の管理不備・老朽化に起因する重大事故発生件数	現状値	0件（R5年度）
	細施策	26-3 県営住宅の適正管理、老朽化対策の推進 KGI 県下県営住宅の新耐震基準を満たす住戸率	現状値	86.71%（R6年度）
			目標値	0件（R8年度）
			目標値	89.21%（R8年度）

事業イメージ **KPI** 集約整備率

現状値 46.9%（R7.1時点）
 目標値 100%（R9年度）

鹿峰団地 142戸
 市 5団地 計150戸

1号棟(1期)工事完成（R6.6月時点）

事業概要

- 敷地
市営住宅新開団地（松山市北条辻807、957）
- 構造・階数等
 1号棟：鉄筋コンクリート造8階建（1期：62戸+集会所）**R6完成**
 2号棟：鉄筋コンクリート造7階建（2期：42戸）
 計：2棟104戸（集会所共）
- 事業期間
R3～9年度（7年間）
- 事業費
 R7年度実施分 2期工事建設費（1ヶ年目分） 616,878千円
 既存入居者移転費等 3,609千円

総事業費 35.7億円

【イメージパース図】

1号棟（鉄筋コンクリート造8階建）R6完成

2号棟（鉄筋コンクリート造7階建）

<事業の全体スケジュール>

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
第1期工事	1期設計		1期工事				
第2期工事			2期設計			2期工事	
移転	他公営住宅等への移転				1期移転		2期移転
解体						解体設計	解体工事

8 民間住宅等防災・減災対策事業

近い将来発生が懸念されている「南海トラフ地震」に備え、民間住宅等の耐震化を行う防災・減災対策を積極的に推進する。また、能登半島地震の木造住宅への被害が甚大であったことから、耐震診断、耐震改修設計、耐震改修工事、ブロック塀の除却・建替並びに特定老朽空家除却に係る市町への補助を実施し、県民の安全・安心を確保する。

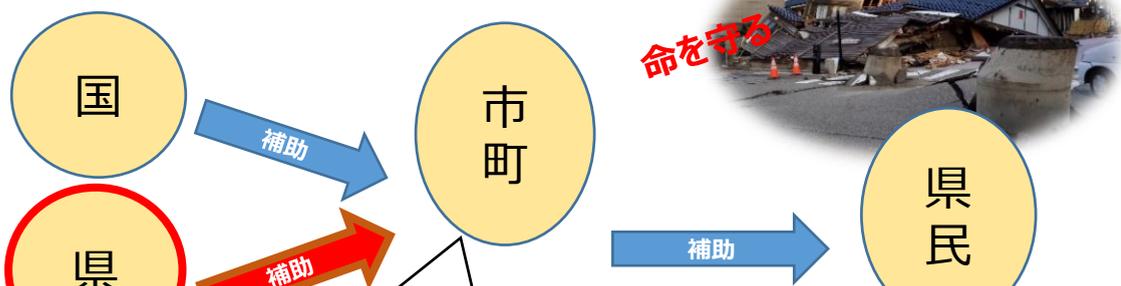
お問い合わせ先
 土木部道路都市局
 建築住宅課
 (089-912-2755)

指標	施策	29 大規模災害に備えたまちづくり KGI 災害想定死者数	現状値	16,032人 (H25年)
	細施策	29-10 民間住宅等の倒壊の予防 KGI 住宅の耐震化率	現状値	86% (R4年度推計)
			目標値	2,439人
			目標値	91% (R8年度)

事業イメージ KPI 右表のとおり 現状値 右表のとおり 目標値

事業概要 【災害に強い愛媛づくり基金充当事業】

大地震に備えた防災・減災対策



・市町の負担の一部を県が負担

・耐震・耐風改修工事、耐震診断
 耐震改修設計
 ・ブロック塀等安全対策
 ・特定老朽危険空家等の除却
 に対して支援

・大地震時の自宅・ブロック塀の倒壊が心配
 ・住宅の耐震化、ブロック塀等の安全対策をしたい

耐震診断・耐震改修設計

耐震改修工事

ブロック塀等安全対策



- 木造住宅耐震化促進事業費 **188,520千円**
 - ・木造住宅耐震・耐風改修に対する補助(拡充)
 - ・木造住宅耐震診断(技術者派遣)に対する補助
 - ・木造住宅耐震改修設計に対する補助
- ブロック塀等安全対策事業費 **18,750千円**
 - ・倒壊の危険性があるブロック塀の除却・建替えに対する補助
- 特定老朽危険空家等除却促進事業費 **82,400千円**
 - ・倒壊の危険性がある特定老朽危険空家等の除却に対する補助

※昭和56年5月以前に着工した旧耐震基準の木造戸建て住宅が対象

耐震改修工事補助額
 上限の引き上げ
 100万円→**115万円**

補助内容	補助額 (1件あたり)	県費内訳		想定件数
		負担割合	負担額	
木造住宅耐震改修	115万円	1/4	28.7万円	420件
耐風改修(耐震改修への加算)	55.2万円	1/4	13.8万円	80件
木造住宅耐震診断(技術者派遣)	7.4万円	1/4	1.8万円	830件
木造住宅耐震改修設計	20万円	1/2	10万円	420件
ブロック塀の除却・建替	30万円	1/4	7.5万円	250件
特定老朽危険空家等の除却	80万円	1/4	20万円	362件

※上記は、代表的な市町における例で、補助額は国・県・市町を合計したものです。各市町により、上記とは異なる補助額が設定されている場合があります。

【参考】建築物安全安心普及促進事業費(4,014千円)

・県民にとって安全で安心な居住環境の促進を図るため、木造住宅耐震化補助制度の積極的な活用を普及啓発

事項名	KPI		
木造住宅耐震化促進事業費	KPI 耐震改修等が必要な木造住宅への対応率	現状値	100%(R5年度)
		目標値	100%(R8年度)
ブロック塀等安全対策事業費	KPI 安全対策が必要なブロック塀等への対応率	現状値	100%(R5年度)
		目標値	100%(R7年度)
特定老朽危険空家等除却促進事業費	KPI 除却が必要な特定老朽危険空家等への対応率	現状値	100%(R5年度)
		目標値	100%(R8年度)

9 県単独緊急防災・減災対策事業

切迫性が増している「南海トラフ地震」や近年、激甚化・頻発化する豪雨災害に備え、県民の安全・安心を確保するため、避難道路や河川、砂防施設等の整備を緊急に行う県独自の防災・減災対策を積極的に推進する。

お問い合わせ先
 土木部道路都市局 道路建設課 (089-912-2710)
 道路維持課 (089-912-2720)
 土木部河川港湾局 河川課 (089-912-2670)
 港湾海岸課 (089-912-2690)
 砂防課 (089-912-2700)

指標	施策	26 公共施設の適正なマネジメント	KGI	県の管理する公共施設等の管理不備・老朽化に起因する重大事故発生件数	現状値	0件(R5年度)	目標値	0件(R8年度)
	細施策	右表のとおり		KGI	右表のとおり			
	施策	29 大規模災害に備えたまちづくり	KGI	災害想定死者数	現状値	16,032人(H25年)	目標値	2,439人
	細施策	右表のとおり		KGI	右表のとおり			

事業イメージ	KPI	右表のとおり	現状値	右表のとおり	目標値	右表のとおり
--------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

激甚化・頻発化する大規模地震や豪雨災害



○能登半島地震等を踏まえた交通網の整備

災害時に孤立集落等の発生の恐れがある県管理道路の改良・法面对策等 約20億円

法面工

○洪水に強い人命・財産を守る河川整備

土砂の堆積が著しい箇所への河床掘削、堤防補強等の地震・津波対策 約10億円

○命を守る土砂災害対策の推進

砂防施設の整備や機能維持を行うための土砂撤去等 約8億円

○津波や高潮に強い海岸施設等の整備

防波堤や護岸、岸壁等の施設の機能強化 約5億円

事業概要		予算額(千円)	事業の内容	細施策KGI・KPI
【細施策26-6】 港湾の適正管理				KGI 港湾施設の管理不備による港湾の利用(通常の荷役作業等)に支障を与えた件数 現状値 0件(R5年度) 目標値 0件(R8年度)
港湾施設防災・減災対策事業費【港湾海岸課】	245,000	防波堤や浮桟橋等の港湾施設の補強、改良(重)三島川之江港(四国中央市)など22箇所	KPI 港湾施設の補修進捗率(R10までに対策が必要な港湾施設の整備完了を目指す) 現状値 43%(R3~5年度累計) 目標値 88%(R3~8年度累計)	
【細施策29-7】 河川災害の予防				KGI 河川整備率 現状値 46.0%(~R5年度累計) 目標値 46.1%(~R8年度累計)
河川防災緊急対策事業費【河川課】	240,000	重要水防箇所等の河床掘削(二)吉藤川(松山市)など52箇所	KPI 土砂堆積箇所実施率(70%/年 以上を目指す) 現状値 78.9%(R5年度) 目標値 70%(R8年度)	
流域治水対策推進事業費【河川課】	742,000	流域治水プロジェクトに位置付けられた河川施設等の整備など(二)大堀川(宇和島市)など82箇所	KPI 対象工事の進捗率(7%/年 増を目指す) 現状値 35.5%(~R6年度累計(見込)) 目標値 49.5%(~R8年度累計)	
【細施策29-8】 津波・高潮災害の予防				KGI 基準年から目標年に整備する海岸施設により高潮や津波浸水から守られる地域の面積 現状値 9,012ha(R5年度) 目標値 9,014ha(R5~8年度累計)
海岸施設防災・減災対策事業費【港湾海岸課】	297,000	浸水被害防止のための水門・陸間等の補修など下泊南海岸(西予市)など21箇所	KPI 海岸保全施設の補修進捗率(長寿命化計画における対策が必要な施設の整備率15.5%増を目指す) 現状値 27.6%(H30~R5年度累計) 目標値 42%(H30~R8年度累計)	
【細施策29-9】 土砂災害の予防				KGI 土砂災害防止施設により土砂災害から保全される人家戸数 現状値 8,003戸(H25~R5年度累計) 目標値 9,508戸(H25~R8年度累計)
集落・避難路保全斜面地震対策事業補助金【砂防課】	253,500	市町が行うがけ崩れ防災対策事業の補助 猪之泊地区(愛南町)など18箇所	KPI 集落・避難路保全斜面地震対策事業によって保全される人家戸数(37戸/年 以上を目指す) 現状値 653戸(H25~R5年度累計) 目標値 764戸(H25~R8年度累計)	
砂防施設防災・減災対策事業費【砂防課】	556,100	砂防設備等の機能維持など(地)千町地区(西条市)など76箇所	KPI 要対策箇所の修繕率(5%/年 増を目指す) 現状値 37%(R1~5年度累計) 目標値 53%(R1~8年度累計)	
【細施策29-11】 道路防災減災				KGI 要対策箇所における対策完了率 現状値 67.2%(~R5年度累計) 目標値 69.0%(~R8年度累計)
地震防災関連道路緊急整備事業費【道路建設課】	1,084,000	緊急輸送道路などの県管理道路の改築(一)美川松山線(久万高原町)など91箇所	KPI 二次緊急輸送道路の改良率(0.2%/年 増を目指す) 現状値 85.9%(~R5年度累計) 目標値 86.6%(~R8年度累計)	
道路防災・減災対策事業費【道路維持課】	892,400	原発避難道路等の法面对策や路面補強など(国)197号(伊方町)など108箇所	KPI 防災点検における要対策箇所の解消率(1%/年 増を目指す) 現状値 70%(~R5年度累計) 目標値 74%(~R8年度累計)	

10 山鳥坂ダム建設費負担金

令和7年度当初予算（案）
 予算額 1,784,031千円

肱川流域は、洪水により頻繁に浸水被害が発生していることから、流域全体で行う複合的な対策の一つとして、流域の治水安全度の向上を図るため、国が行う山鳥坂ダム建設事業への負担金を支出する。

お問い合わせ先
 土木部河川港湾局
 河川課
 (089-912-2670)

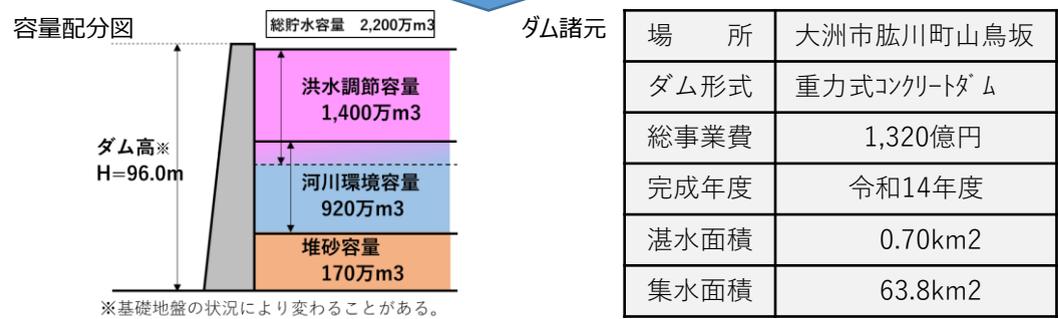
指標	施策	29 大規模災害に備えたまちづくり KGI 災害想定死者数	現状値	16,032人 (H25年)
	細施策	29-7 河川災害の予防 KGI 河川整備率	現状値	46.0% (~R5年度累計)
			目標値	2,439人
			目標値	46.1% (~R8年度累計)

事業イメージ	KPI 山鳥坂ダム建設事業進捗率 (事業費進捗を基に算定)	現状値	51.7% (~R6年度累計(見込))
		目標値	65.1% (~R8年度累計)

- 治水
過去にも浸水被害が頻発しており、平成30年7月豪雨では、大洲市全域で甚大な被害が発生
- 利水
平素の河川流量の減少が課題であり、動植物の生息や生育、景観等に必要な正常流量の確保が必要



洪水調節、流水の正常な機能の維持のために山鳥坂ダムを建設



事業工程	工種	年度	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
本体関連	転流工(仮排水トンネル)													
	ダム本体基礎掘削工													
	ダム堤体コンクリート打設													
補償関連	試験湛水													
	付替県道	一次切替												
		二次切替												

出典：山鳥坂ダム工事事務所 ダム事業費等監理委員会資料を一部加工

事業概要

- 事業内容
 - ①工事費 仮排水トンネル（転流工）工事、ダム本体内工事 工事用道路工事 等
 - ②測量設計費 ダム本体にかかる地質調査・設計及び地すべり観測等にかかる費用
 - ③用地費及び補償費 用地買収や付替県道等の補償工事にかかる費用
- 負担率 国7.14/10 県2.86/10
- 【事業目標】 令和14年度の事業完了による肱川の治水安全度の向上

